食教育フェスタふちゅう その評価は

委員　学校給食センターで2日間にわたり開催された「食教育フェスタふちゅう」は、多くの方が関心を持ち、600人もの来場者があったと聞く。この中で、給食の試食も行われたが、その実績は。

また、この事業の評価と今後の展開を聞きたい。

学務保健課長　試食数は両日とも各500食、合計1000食を提供し好評であった。

食育をテーマにしたフェスタを開催したことは、今まで市町村レベルではなかった中で、本市から全国に発信できたことは大きな評価としてとらえるとともに、引き続き給食展として地道に実施していきたい。

生活安全条例 その取組と成果は

委員　平成15年9月に、生活安全条例が制定され、16年1月に施行された。

本条例は、市民の期待も大きく、今後、更なる充実を目指していってほしいと思う。

そこで、条例制定後の取組と成果を聞きたい。

地域安全対策課長補佐　条例制定後、16年12月に文化センターで地域防犯の集い、17年3月には地域安全リーダー講習会などの各種事業を実施した。

成果としては、17年1月から6月までの上半期の犯罪発生状況が1675件と、16年の同時期と比較して469件の減となっており、警察の取締りの強化とともに、市民活動の成果と評価している。

▲地域安全リーダー講習会

武蔵国府の国庁跡 今後の予定は

委員　武蔵国府の国庁跡については、発掘調査が行われ、平成17年2月にはシンポジウムが開催された。

現在は、シートがかけられ、周りが囲われている状態だが、今後の予定を聞きたい。

文化財担当主幹　発掘地の北側及び南側を調査したいと考えており、現在土地所有者と交渉を進めている。

また、発掘地は、柱の跡が確認されているので、柱の形を調査した後に、埋め戻すことになる。しかし、埋め戻しについては、国の史跡指定を受けたいとの意向もあるので、慎重に保存処理するとともに、市街地の中心部であり、市民の意見を聞きながら進めたい。

障がい者への就労支援事業 状況と評価は

委員　平成16年度のレベルアップ事業の中に、障がい者の就労支援事業がある。

17年度から、「ジョブコーチ」に格上げされたが、その状況と評価を聞きたい。

障害者福祉課長補佐　障害者の就労支援については、16年度に調査・研究を行い、その結果を踏まえ、非常勤職員による週2日体制を、17年度からは職員1名を配置し常時実施している。

9月15日現在の状況は、登録者等が43名、就業相談や就業準備の支援等の就労支援が296件、生活支援が250件等となっており、3人が一般就労へとつながっている。

商店街の現状 その認識は

委員　市は、商店街振興プランに沿い各種事業を進めているが、商店街が抱えている問題には、様々なものがある。

そこで、市は商店街の現状をどう認識しているか。

また、商店街の中核をなす商店会へのコンビニ等チェーン店の加入率を聞きたい。

経済観光課長　商店街はインターネットショップ、チェーン店等、環境の変化に対応する必要があるとともに、人々が交流し、安心して生活していくための拠点と考える。今後、商店会の役割は、ますます大きくなると認識している。

平成16年に実施した商店街連合会加盟の商店会を対象とした調査では53・4％である。

総括

市制施行50周年記念事業

委員　平成16年度は、市制施行50周年記念事業が行われ、次の50年に向けての大きなスタートが切られた節目の年であったと思う。

そこで、この事業の成果を聞きたい。

総務部長　第一に、環境の大切さをPRするとともに、緑豊かな環境を美しく整える基盤整備に着手できたこと、第二に、市民のソフトパワーの結集に向けての足がかりとすることができたこと、第三に、多くの市民が事業に参加することにより、市民が本市の歴史や文化を知り、本市を誇りに思い、本市に住んで良かったと実感してもらうことができたものと考える。

福祉サービスの第三者評価

委員　福祉サービス第三者評価事業は、平成16年度、都の助成制度のもとに、着実に推進され、利用者にとっては、サービス選択の情報が得られ、安心と信頼につながるものと考える。

そこで、同事業の成果と課題について聞きたい。

福祉保健部長　成果としては、潜在化した利用者の評価や意向を把握できることや、改善点等の発見につながることにより、サービスの面での向上が期待される。

課題としては、制度発足後2年という短期間のため、本制度への認識がまだ高まっていないことなどが挙げられる。

基金の考え方

委員　基金は、目的別に積み立て、計画的に取り崩し、事業費に充てており、平成16年度の基金繰入額は、約28億円となっている。

そこで、今後の基金についての考え方を聞きたい。

財務部長　基金は、福祉や公共施設の整備などの財政需要の高い分野について、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するために設けている。

今後予測される財政負担に備えるため、また、特定の年度に過度の負担が生じることのないよう、計画的に積み上げ、有効に活用していきたい。

水と緑のネットワーク事業

委員　本市の大きな政策の一つである水と緑のネットワーク事業が、平成16年度にスタートした。

同事業については、16年度に水と緑のネットワーク拠点整備基本計画が策定されたが、現在の進ちょく状況について聞きたい。

水と緑事業本部長　市民健康センターや郷土の森博物館、そしてその周辺区域を対象とした基本計画に基づき、17年度には、庁内の関係課と調整を進め、実施計画を検討しているところである。

現在、その素案ができた状況であり、今後は市民の意見を反映しながら、17年度内に実施計画を策定していきたい。

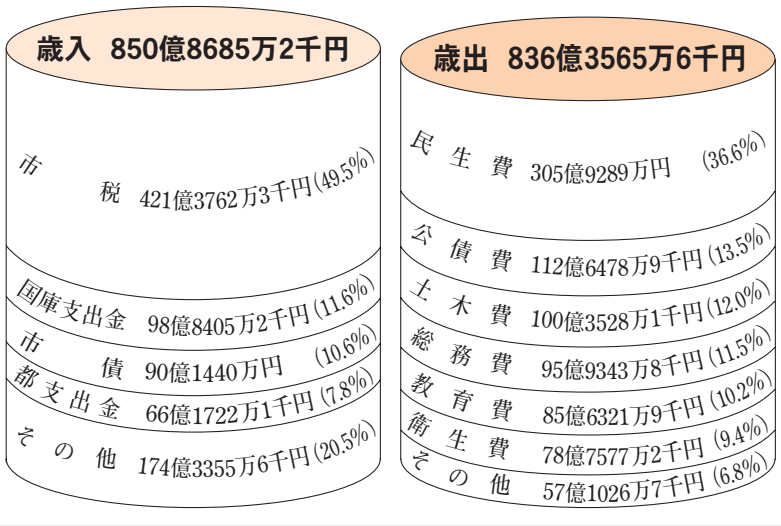
PFI事業

委員　PFI方式で進められている市民会館・中央図書館複合施設整備事業について、現在、契約書案を作成している段階と聞くが、今後、計画変更した方がいいという意見が出た場合は、計画変更することは可能なのか。

生活文化部長　基本的には、相応な手順を踏んできているので、後戻りしたり、契約金額の変更や審査会の評価を変えるようなことは避けるべきものと考える。

今後は、実施設計の中で、対応できるような市民の意見や要望等があれば、対応していくことも考えられる。

平成16年度各会計別歳入歳出決算の状況

区分		最終予算額	収入済額	収入率（%）	支出済額	執行率（%）
一般会計		865億 417万8千円	850億8685万2千円	98.4	836億3565万6千円	96.7
特別会計	国民健康保険	172億7070万円	168億2399万4千円	97.4	167億6246万7千円	97.1
	老人保健医療	137億9375万4千円	135億7830万9千円	98.4	135億7830万8千円	98.4
	介護保険	84億 955万2千円	82億7983万7千円	98.5	82億5452万9千円	98.2
	競走事業	633億1366万9千円	626億3744万9千円	98.9	623億2523万5千円	98.4
	公共用地	33億5855万8千円	32億5694万7千円	97.0	31億2634万2千円	93.1
	下水道事業	43億2552万6千円	43億2230万2千円	99.9	42億9431万6千円	99.3
	受託水道事業	24億4490万円	18億7047万9千円	76.5	18億7047万9千円	76.5
	火災共済事業	1023万3千円	729万円	71.2	527万2千円	51.5

平成16年度一般会計決算款（科目）別内訳